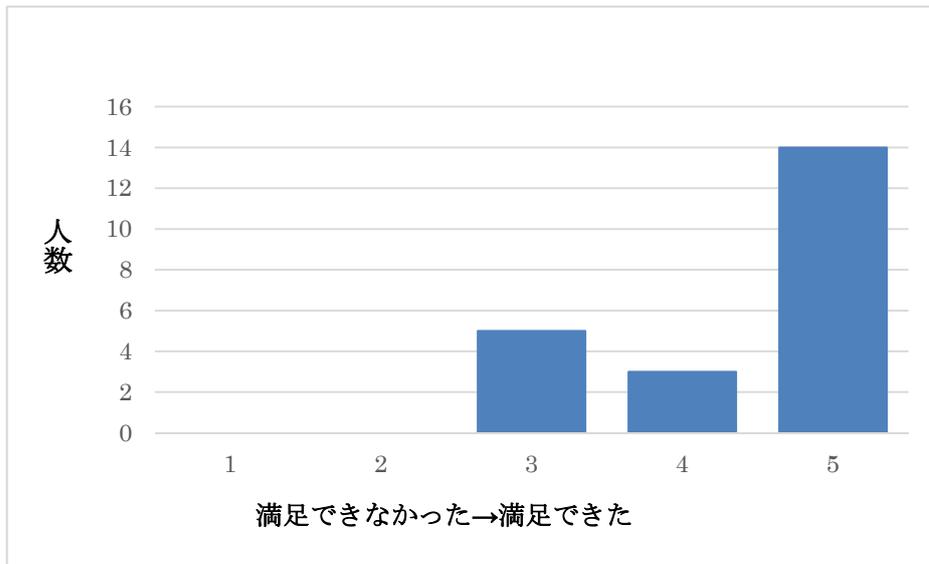


平成29年度 スキルアップ研修会(仙台) アンケート集計

- ◆開催日 : 平成 29 年 11 月 17 日 (金)
- ◆参加者数 : 35 名 (参加者 25 名、オブザーバー3 名、指定団体 1 名、事務局 6 名含む)
- ◆アンケート回収数 : 24 枚

1. 今回の研修会は満足できましたか？

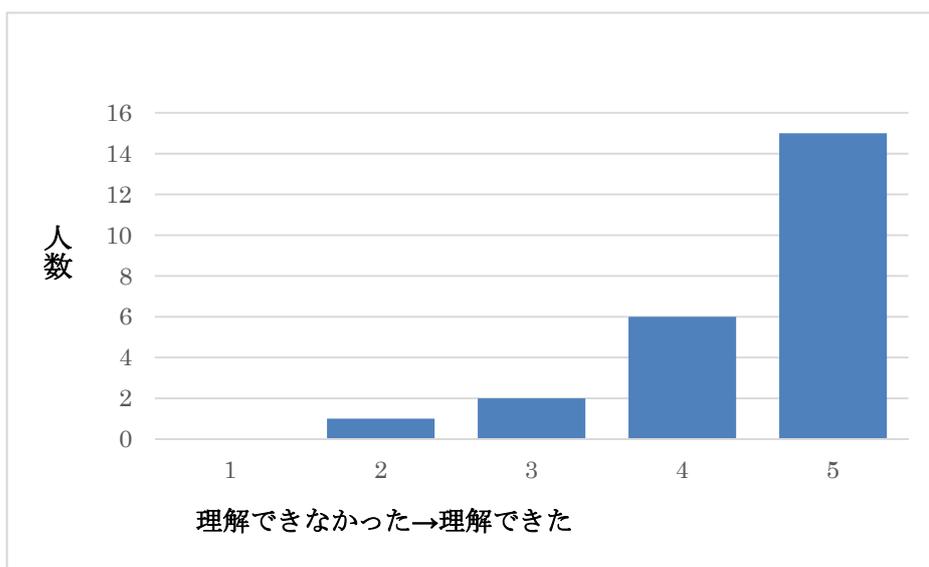


平均値 : 4.4

無回答 : 1

2. 今回の研修会のプログラムについてお聞かせください。

(1)「酪農教育ファームにおける安全、衛生対策の確認について」の内容は理解できましたか？

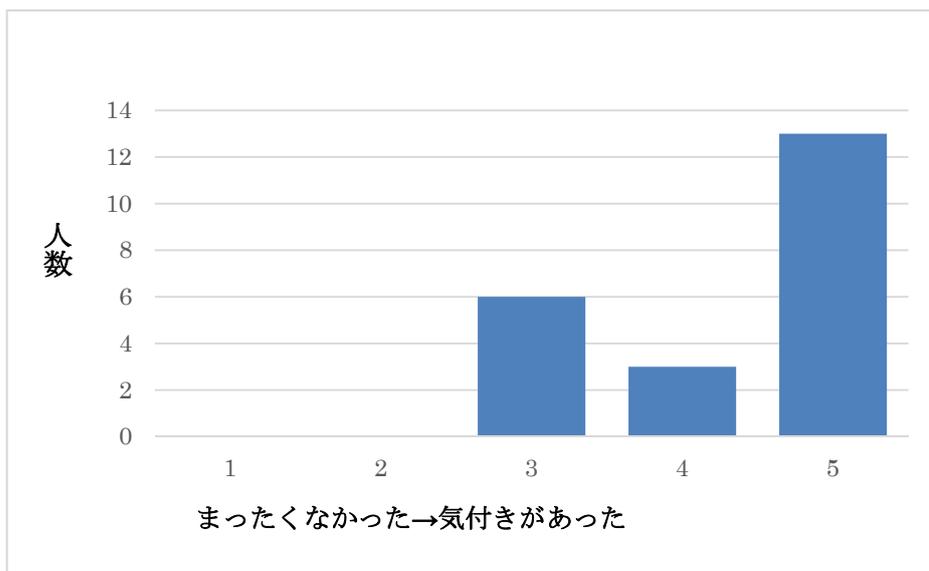


平均値 : 4.5

★安全、衛生対策で理解できたことや、さらに知りたいことがあればお書きください。

- 牛体の衛生対策などに対してもっと知りたい。
- o-157 の消毒方法（アルコール×次亜塩素酸水○）。
- 牛舎と鳥対策について（鳥インフル）。
- 人畜共通の感染症、クリプトも対応注意ということ。
- アルコール消毒の盲信はだめ、手洗いが重要。
- o-157、クリプト。
- 安全のしすぎはないと思うが、どこまで対策をすればよいのか？
- 手洗いが大切さ。
- 消毒槽（14P）の話が非常に有効でした。
- 講習に関してはもう少し専門的見地からの話を聞きたいと思った。
- 薬剤を使った、外部からの侵入対策。
- ラストの写真にカウキーパが使われていたが、アニマルウェルフェアに反する。消除すべき。

(2)ワークショップ「～伝わるためにはコツがある～ 意識的にしくみ、相手の腑に落とす」では、ご自身の酪農教育ファーム活動に関する新しい気づきがありましたか？



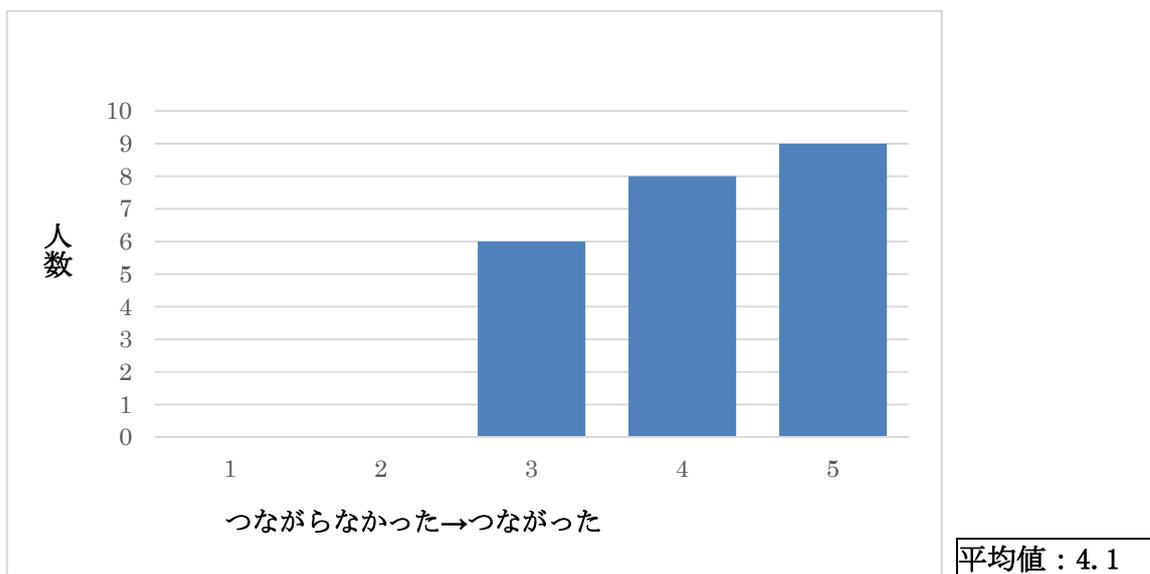
★具体的にどのような気づきがありましたか？

- 言葉をやさしく。気持ちを高める。
- 出前の場合のプログラム作りの大切さがわかった。
- しくむこと…。綿密にシナリオを作るぐらいでないと結果も得られないか…。
- 話しの「みちすじ」をきちんと構成するという事。
- 声の強弱、相手との距離を近づける。
- 牛の胃袋はドラム缶と同じ。
- 説明する側に、具体的な目標を設定し、それを伝える、ということ。相手に伝えるための言葉選び。
- DVDを見て、声の強弱・動きながらの話・ジップロックに草・堆肥。
- 子どもの年齢にもより、気づきが違うこと。

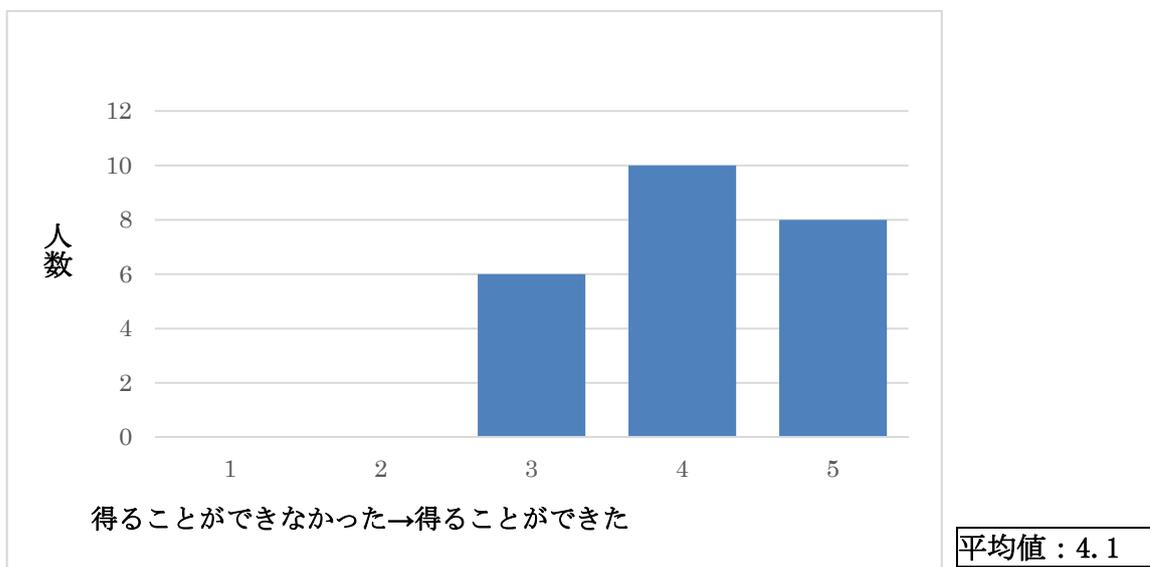
- 普段、なりゆき任せで、大ざっぱなコースしか考えていなかったのが、「みちすじ」を意識することを意識することによって、自分がどんなことを子ども達に伝えたいのか、また、それを伝える方法を考える機会になりました。今後の活動に生かしていきたいと思えます。
- 「酪農の仕事をしてみたい」と思わせることの「あらすじ」ってことが、薄ぼんやりとわかった気がします。
- 仔牛から成牛に至る。月令ごとの適切な気遣い。牛は正直である。
- 出前授業の重要性、汎用性。現物が1番と思っていたが、テクニックによっていいものになると思った。テクニックを磨くことが必要。

3. 今回の研修会を受けられて、次のことについてお聞かせください。

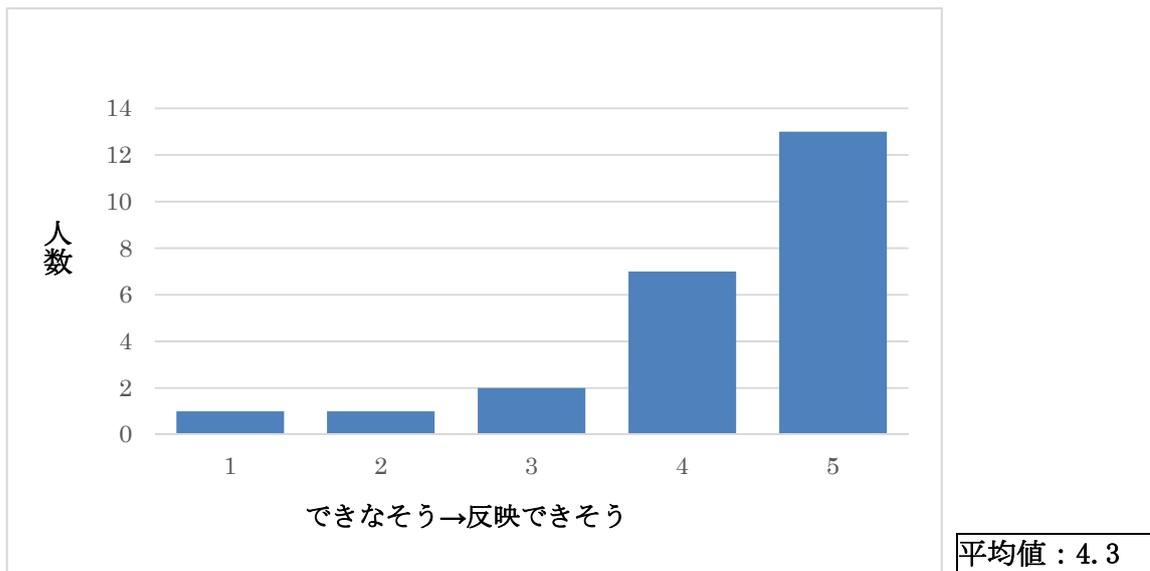
(1) コミュニケーションスキル(自分の想いや意見などを相手に伝える力)の向上につながりましたか？



(2) 他の受講者とのコミュニケーションを通じて、新たな気づきを得ることはできましたか？

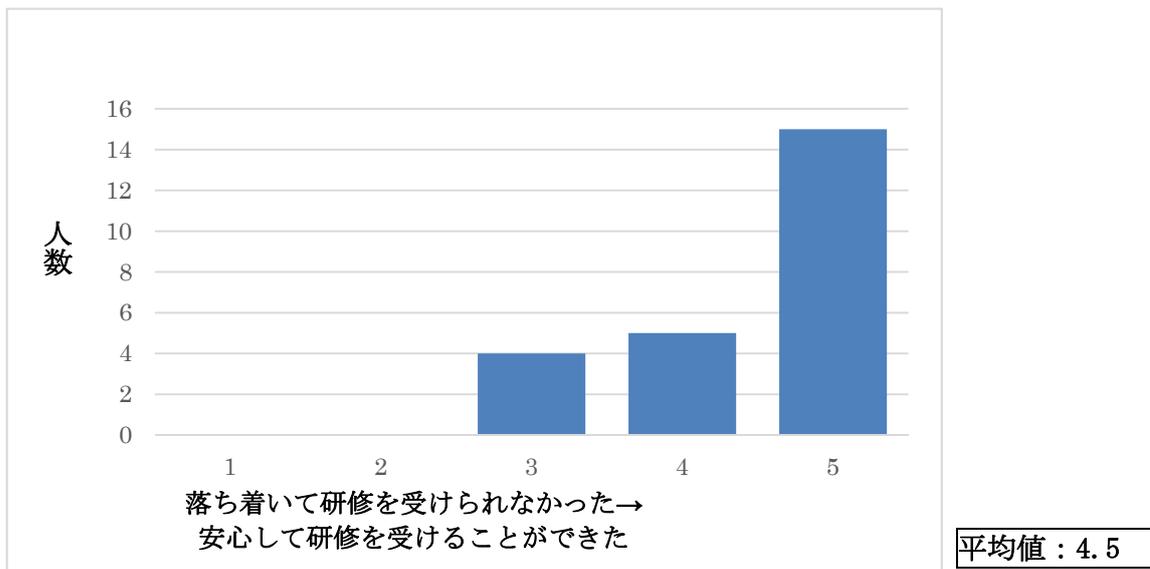


(3) 今日気付いたことや学んだことを、自らの酪農教育ファーム活動に反映できそうですか？

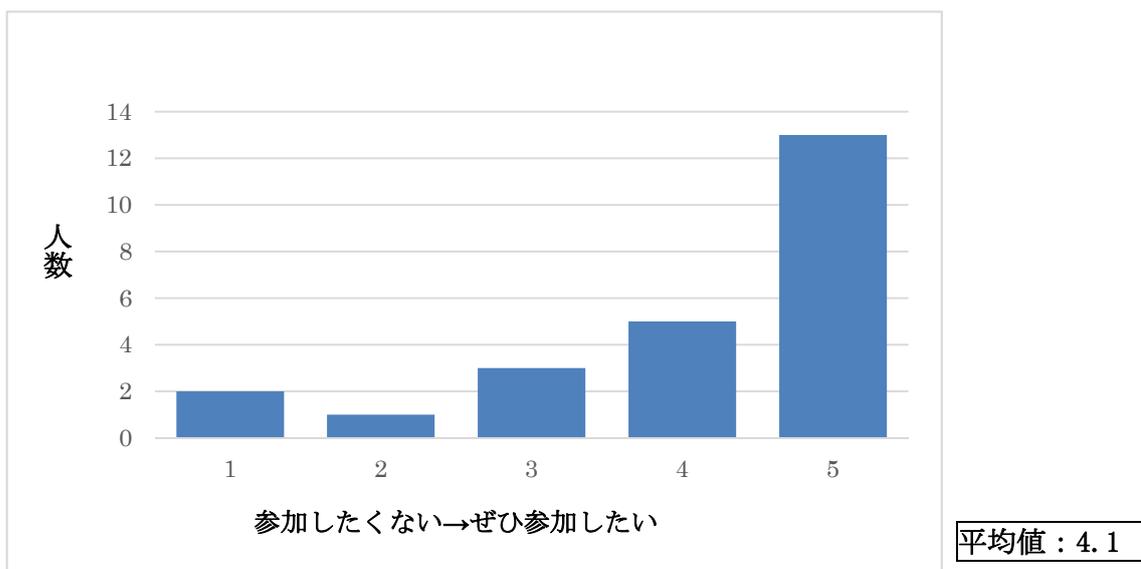


4. 研修会の運営等についてお聞かせください。

(1) 研修会の雰囲気はどうでしたか？



(2) 今後も引き続き、このような研修会に参加したいと思いますか？



5. その他、ご意見やご要望等をお書きください。

- スキルアップの内容については、ファシリテーターとしてのキャリアによってかなり必要性が変わるので、人によって満足度が違う。内容を選べると良いかも
- ありがとうございました。毎回参考にさせて頂いています。(他の研究集会も)
- 御苦勞様でした。長年続けきて良かったなーとつくづく感じました。今後も年老いてもやれるやり方で頑張ろうと思います。また若い後継者を募っていきたいです。
- 大変勉強になった。お世話様でした。
- 酪農情勢の資料は紙ベースで送って欲しい。次回からは、レジェンドは免除して欲しい。